

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870105735
法人名	株式会社 ツクイ
事業所名	ツクイ 松山南江戸 サンフラワー
所在地	愛媛県松山市南江戸2丁目1番29号
自己評価作成日	平成 23年 2月 20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成23年3月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

イベント・行事への参加 地域への関わりあい 利用者様とのコミュニケーション バラエティーにとんだ食事作り 今まで通りのライフスタイルの継続

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域の自主防災組織の協力を得て、積極的に火災時の避難訓練を実施している。近くの中学生の体験学習を受け入れ、認知症の学習会などもホームで開催している。職員は地域の清掃活動にも協力している。家族の協力を得て「ケアサービスに関する満足度調査」を実施したり、家族会を結成して家族の要望や意見を聴き取るよう努めている。終末期ケアに関しては定期的に学習会を設けて、家族と十分話し合いを行いながら取り組んでいる。外出を積極的に行うよう努めており、職員や家族と馴染みの場所へ出かけたり、同法人の行事などに参加している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 松山南江戸

(ユニット名) みかん

記入者(管理者)

氏名 野本淳子

評価完了日 23年 2月 15日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 経営理念を1F入口に掲示し共有できるよう努めると共に、社訓については毎日夕礼で唱和するようにしている。</p> <p>(外部評価) 1階ユニットには「思いやりの心で感謝とコミュニケーション」、2階ユニットには「地域と共に明るく楽しく」を理念として掲げ、毎日の集会時に共有し合い、ケア向上につなげている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 地域行事（防災大会・運動会・文化祭）に出向き参加し、地域交流を深めている。</p> <p>(外部評価) 地方祭には地元の御輿が訪れたり、近くの中学生の職場体験学習も受け入れている。職員は週1回、地域の清掃活動に参加し、地域住民に喜ばれている。防災活動、認知症の学習会なども、地域住民の参加を得て、積極的に行っている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 運営推進会議を通じて、事業所の取り組みについて報告する。又、中学の職場体験を通してグループホーム、認知症について共に学ぶ機会を持っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 推進会議の地域の方や行政の方々に参加して頂き、日々の取り組みについて報告し、意見を頂いて運営に活かしている。	
			(外部評価) 職員は会議の意義を理解し、年6回開催している。事業所から活動報告や行事予告を行い、出席者から要望や意見を聴き取っている。前回の評価結果をもとに改善すべき項目を選び、達成結果を開示して出席者に説明を行っている。	会議録を分かりやすい様式に統一し、記録を管理して今後のサービスに活かすことが求められる。また、家族にはできるだけ出席を依頼し、意見や要望を聴取することが望まれる。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 生活保護受給者等おられ担当者と都度つど連絡を取り、相談協力をしていただいている。	
			(外部評価) 市担当者との連携、話し合いは運営推進会議で十分行っている。生活保護の利用者は、市担当者が定期的に来訪しており、その際に必要な情報を共有している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 身体拘束のないケアに取り組むと共に、全体カンファにおいて研修を行なっている。	
			(外部評価) 身体拘束に関してはカンファレンスで話し合い、思いやりと感謝の気持ちを持って支援に努めている。日中は玄関の施錠をせず、利用者の外出傾向を把握し、しっかりと見守り体制をとっている。利用者が徘徊していることを想定し、職員間で連絡を取り合い、徘徊者発見の訓練を実施した。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 高齢者虐待について全体カンファで学ぶ機会を持つと共に、虐待のないケアに取り組んでいる。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 全体カンファで権利擁護に関する制度について研修済み	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 新規入居者様の契約時に十分な説明を行い、理解・納得していただけるよう努めている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 顧客満足度調査を実施し、運営推進会議・家族会で発表、改善を図っている。	
			(外部評価) 介護計画の打ち合わせなどに来訪した際に、要望や意見を聴取している。年2回家族会を開き、話し合いの機会を持っている。遠隔地の家族には電話で要望を聴き取っている。「ケアサービスに関する満足度調査」を行い、ケア向上に活かしている。事業所内と第三者機関にそれぞれ相談窓口を設けている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 定期的な全体カンファで処遇改善への取り組みを行なう共に、管理者は出来る限り、職員の意見を聞く機会を設けるように努める。</p> <p>(外部評価) 全体カンファレンスやユニット会議で意見を述べ合い、管理者サイドで判断できる事項に関しては、即、ケア改善に活かしている。また代表者に相談すべき事項は内容を伝え、判断をしてもらっている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 職員個々の努力や勤務状況を把握し、契約の更新時に時給、職場環境についても整備に努めている。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 内外の研修に参加する機会を持ち、全体カンファで発表し、全員で共有できるように努める。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) J K Gと通じてた事業所との交流、意見交換の機会を持つ取り組みが出来ている。</p>	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 概ね出来ている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 概ね出来ている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 関係作りに努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 関係作りに努めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 可能な限り、関係継続に努めている。 (外部評価) 入居前に馴染みの人や場所を聴き取り、ケア支援に活かしている。月2回、馴染みの医師の訪問を心待ちにしている。定期的に訪れる美容師が来訪した際は、楽しく話し合っている。職員と行き慣れたスーパーや薬局に出かけたり、家族と外出する機会もある。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入居者様同士の関係の把握に努め、関わりが持てる支援、孤立しない支援に努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 今まではないが、必要に応じて相談に応じられるよう努めていきたい。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご本人様が意思決定できる場合は出来る限り、意思を尊重し、意思を確認できない場合は、本人本位に近づけるよう努めている。 (外部評価) 出来る限り声かけに努め、具体的な要望を聴き取るよう努めている。入浴介助時などに顔を合わせた際に、希望を聴き取ることもある。話し合いが困難な利用者に対しては、日常生活の中で表情や動作から、気持ちを把握するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) ご本人様、家族様より話を聞いたり、ケアマネや医療連携室より話を聞く事これまでの経過把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) モニタリングをし、現状に即した介護計画書作りに努めている。	
			(外部評価) 各ユニットの担当者が家族から聴き取った情報を踏まえ、生活の様子や申し送りノートを参考にして計画案を作成し、全職員の意見を聴き取った後、計画を作成している。家族にも説明し同意を得ている。基本的には3か月毎の見直しであるが、必要に応じて柔軟に対応している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の記録を実践や介護記録の見直しに活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 柔軟な支援やサービス、出来る限り、時々々のニーズに対応できるように努めている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 地域包括センターをはじめ、地域防災のネットワークなど地域資源との協働に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) ご本人及び、家族の希望を取り入れ、適切な医療を受 けられる支援を行なっている。</p> <p>(外部評価) 主治医は家族と話し合っ決めており、月2回訪問診 療を受けている。歯科医は月1回訪問している。他の 専門医も家族と話し合い、必要に応じて診察を受けて いる。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) 看護職員の配置により、医療連携体制を整え、個々の 利用者様が適切な受診を受かれよう支援している。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 利用者様本人の心身の状態に留意し、適切な連携が取 れるようドクター・ナース、医療連携室との関係作り に努めている。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) 重度化した場合の指針を作成し、説明している。終末 期に入った時点で再度、病院、ご家族様、事業所で話 し合い終末期の方針について取り決め支援できるよ うにしている。</p> <p>(外部評価) 終末期ケアに関しては、入居前に家族と話し合いホー ムとしての指針を伝えている。家族の意思を尊重し、 同意を得て対応している。緊急時に備えて、職員研修 を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 年間研修において、事故発生又は発生防止に関する研修、緊急時の対応に関する研修など、定期的に学び、訓練を行なっています。又、利用者の急変時においては医療関係者と連絡を取り合っています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 事業所において利用者様、職員と一緒に避難訓練を行なっている。又地域の防災訓練に参加し、近隣協力員と共に利用者様の非難訓練の実施を行なっている。 (外部評価) 年に2回（1回は夜間想定で消防署の指導を受け）火災避難訓練を実施している。「自主防災組織（地域防災組織）」の協力を得て、実施することもある。近隣の協力を得て、緊急時に備えてサイレンをホームに設置している。	地震災害に関しても避難訓練を実施しておくことが求められる。調度品の固定、懐中電灯の設置、備蓄品の用意など、具体的な対応策を講じておくことが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者様の当然の権利であり、プライバシーの事は常に念頭において業務に当たっている。 (外部評価) 利用者に対しては年長者として尊敬し、優しく支援介助に当たっている。個人情報の取り扱いに関しては全員が学習し、十分理解している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者様の話を傾聴し、話の中から、ご本人様の真意を読み取り、自己決定ができるよう対応しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々によって生活のスペースは違うのでお一人お一人のペースに合せた支援、見守りをしています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 本人様をご希望する服装にしています。起床時の身だしなみ、定期的な訪問美容室を利用して、カットをしています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者様とスタッフが一緒に話をしながら食事をしたり、お盆拭きをして頂いたり、片付けも出来ることをして頂いています。	
			(外部評価) 食器はそれぞれ好みのもを使用し、利用者の状況に合わせてゆっくりと食事ができている。食事介助に必要な利用者の傍らに座り、優しく声かけを行いながら介助に努めている。水分補給にも配慮している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 糖尿病で食事に制限がある方には、量を少なくする。水分に関しては、記入チェックをしています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 定期的に歯科医師の往診により、義歯の不具合や歯の治療をしています。毎食後、口腔ケアを行なっています。自立の人はご自分で、声掛け、介助の必要な方には介助をするよう対応したいと思います。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄パターンをつかみトイレ誘導を行う事で、失禁が少なくなってきました。	
			(外部評価) 一人ひとりの排泄パターンを把握しており、さりげなく声かけし、機能維持に配慮しながら支援に努めている。尿意を感じない利用者には排泄表を基に支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 個人にあった運動を取り入れたり、食事でゼリーを摂取していただき、自然な排便を促せるよう取り組んでいます。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴日、時間は概ね決まっていますが、その日の体調や気分により対応しています。	
			(外部評価) 基本的には午後、利用者の希望する時間帯に合わせて、週2回以上の入浴支援を行っている。入浴が苦手な利用者については、声かけなどを工夫し気分がほぐれた時点で入浴してもらっている。冬場の室温差には特に注意している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 体調の変化には十分に気をつけ、熱発時には臥床していただくなど支援をしています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 往診時、職員が往診介助にあたり、医師より病状、薬についての説明を受け、服薬の支援を行なっている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 利用者様の話を傾聴し、話の中から、ご本人様の真意を読み取り、楽しみ事、気分転換の支援が出来るようにしています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) イベント、行事等は出来る限り、参加しています。又、個別にご家族様と出かける機会もあり協力を得ながら、外出の支援に努めています。	
			(外部評価) 天気の良い日には散歩に出かけるよう心がけている。職員とスーパーや薬局に出かけることもある。季節に合わせて花見やいちご狩り、夜市に出かけている。また同法人が行うそうめん流しや夏祭りなどにも積極的に参加している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご自分でお金を持たれ、管理をされています。家族様の確認を取ってから買い物支援を行なっています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 希望があれば、職員が電話を掛け取り次ぐなどの対応をしています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 毎日掃除をし、清潔な環境の提供をすると共に、壁の掲示物を季節ごとで変えるなどの工夫をしている	
			(外部評価) 居間、食堂は広くて明るく、室内には桃の花の作品や行事の写真などを飾り、心が和む環境づくりを工夫している。1階のユニットには大きな日めくりを掲げ、時の見当識に役立つよう配慮している。テレビの前にはゆったりと座れるソファを置き、寛げる場所を設けている。	居間に備えた食器棚、家具、テレビ、調度品などは地震対策に備えて、しっかり固定しておくことが求められる。2階にも1階の居間同様、文字の大きい見やすいカレンダーを備えて、月日の移り変わりを意識しながら生活ができるよう支援することが求められる。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ソファに座り。職員と話をしたり、時には和室で過ごしてもらうなどの工夫をしています。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 馴染みのある品物、思い出のある品物を部屋に置いたり、筆筒などの持込により、居心地の良い部屋作りを努めています。	
			(外部評価) 1階の居室は花の名前、2階の居室は柑橘類の名前を付けて分かりやすく表示されている。各部屋とも馴染みの調度品などが置かれ、自分の部屋らしく工夫している。	1階の居間同様、時の見当識にも役立つよう、全居室に文字の大きいカレンダーを備えておくことが求められる。各居室も地震対策を講じておくことが望まれる。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 廊下や部屋の動線に物を置かないよう気をつける。又転倒や事故が起こらないようにベッドの位置、車椅子も個々に配慮しています。	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870105735
法人名	株式会社 ツクイ
事業所名	ツクイ 松山南江戸 サンフラワー
所在地	愛媛県松山市南江戸2丁目1番29号
自己評価作成日	平成 23年 2月 20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成23年3月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

イベント・行事への参加 地域行事への参加

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域の自主防災組織の協力を得て、積極的に火災時の避難訓練を実施している。近くの中学生の体験学習を受け入れ、認知症の学習会などもホームで開催している。職員は地域の清掃活動にも協力している。家族の協力を得て「ケアサービスに関する満足度調査」を実施したり、家族会を結成して家族の要望や意見を聴き取るよう努めている。終末期ケアに関しては定期的に学習会を設けて、家族と十分話し合いを行いながら取り組んでいる。外出を積極的に行うよう努めており、職員や家族と馴染みの場所へ出かけたり、同法人の行事などに参加している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

● チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 松山南江戸事業所

(ユニット名) 椿

記入者(管理者)
氏名 野本淳子

評価完了日 23年 2月 20日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 経営理念については、1F入口に額に入れ掲げてある。常に目に入る所へへ掲示し、夕礼時の申し送り後社訓の唱和を行い、理念の共有に努めている。</p> <p>(外部評価) 1階ユニットには「思いやりの心で感謝とコミュニケーション」、2階ユニットには「地域と共に明るく楽しく」を理念として掲げ、毎日の集会時に共有し合い、ケア向上につなげている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 地域行事（防災大会、運動会、文化祭）に参加し、地域との交流を図ると共に、利用者様が地域参加できる機会をつくっている。</p> <p>(外部評価) 地方祭には地元の御輿が訪れたり、近くの中学生の職場体験学習も受け入れている。職員は週1回、地域の清掃活動に参加し、地域住民に喜ばれている。防災活動、認知症の学習会なども、地域住民の参加を得て、積極的に行っている。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 2月に1度運営推進会議で、地域、行政の方々を招いて報告している。また中学の職場体験を受け入れ、認知症について学ぶ機会を持つことができている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議に地域の方々、行政の方々を招いて日々の取り組みの報告をし、意見を頂き事業所の運営に活かしている。	
			(外部評価) 職員は会議の意義を理解し、年6回開催している。事業所から活動報告や行事予告を行い、出席者から要望や意見を聴き取っている。前回の評価結果をもとに改善すべき項目を選び、達成結果を開示して出席者に説明を行っている。	会議録を分かりやすい様式に統一し、記録を管理して今後のサービスに活かすことが求められる。また、家族にはできるだけ出席を依頼し、意見や要望を聴取することが望まれる。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 松山市介護保険課の方に運営推進会議に参加して頂いたり、生活保護受給者の後見人について相談するなど、協力関係に取り組んでいる。	
			(外部評価) 市担当者との連携、話し合いは運営推進会議で十分行っている。生活保護の利用者は、市担当者が定期的に来訪しており、その際に必要な情報を共有している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) カンファレンスで研修を行い、管理者、職員全員が身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	
			(外部評価) 身体拘束に関してはカンファレンスで話し合い、思いやりと感謝の気持ちを持って支援に努めている。日中は玄関の施錠をせず、利用者の外出傾向を把握し、しっかりと見守り体制をとっている。利用者が徘徊していることを想定し、職員間で連絡を取り合い、徘徊者発見の訓練を実施した。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) カンファレンスで高齢者虐待防止関連法の研修を行い、緊急時は連絡する旨のポスターを張り周知している。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) カンファレンスで権利擁護に関する制度について研修を行い周知を図っている。又、行政へも相談している。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 新規入居者様入居時、内容を読み説明し、理解・納得して頂けるようにしている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 年2回、家族会の実施。顧客満足度調査を実施し、運営推進会議、家族会で発表、改善を図るよう努めている。	
			(外部評価) 介護計画の打ち合わせなどに来訪した際に、要望や意見を聴取している。年2回家族会を開き、話し合いの機会を持っている。遠隔地の家族には電話で要望を聴き取っている。「ケアサービスに関する満足度調査」を行い、ケア向上に活かしている。事業所内と第三者機関にそれぞれ相談窓口を設けている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 定期的な全体カンファレンスや処遇改善へに取り組みを行っており、できる限り管理者は職員の意見を取り入れるよう努める。</p> <p>(外部評価) 全体カンファレンスやユニット会議で意見を述べ合い、管理者サイドで判断できる事項に関しては、即、ケア改善に活かしている。また代表者に相談すべき事項は内容を伝え、判断をしてもらっている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 職員個々の努力や勤務実績の把握に努め、契約更新時に給与の見直し、向上心を持って働ける職場環境・条件の整備に努めている。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 事業所内外の研修に参加する機会を持ち、全体カンファレンスで発表し、全員が共有できるようにしている。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) J K G（城西・勝山グループホーム連絡協議会を通じて他事業所から当事業所に見学に来たり、他の地域のグループホーム連絡協議会に参加させて頂くなど、他事業所との交流ができている。</p>	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 意見を傾聴し、努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 意見を傾聴し、努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 関係作りに努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族様の様々な事情をご理解し、可能な限り関係を築けるよう努めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 可能な限り関係が途切れない支援に努めている。 (外部評価) 入居前に馴染みの人や場所を聴き取り、ケア支援に活かしている。月2回、馴染みの医師の訪問を心待ちにしている。定期的に訪れる美容師が来訪した際は、楽しく話し合っている。職員と行き慣れたスーパーや薬局に出かけたり、家族と外出する機会もある。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者様同士の関係把握に努め、共有のスペースでの座席に配慮するなどし、孤立せず、関わり合っている支援に努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退去後も来所される家族様がおられる。	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご本人様が意思決定できる場合はご本人様の意志を尊重するが、ご本人の意思が確認できない場合は、ご家族様と共に、ご本人様の気持ちに近づけるよう検討するように努める。	
			(外部評価) 出来る限り声かけに努め、具体的な要望を聴き取るよう努めている。入浴介助時などに顔を合わせた際に、希望を聴き取ることもある。話し合いが困難な利用者に対しては、日常生活の中で表情や動作から、気持ちを把握するよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居受け入れ時、ご本人、家族様より話を聞いたりケアマネ、医療連携室を通じて経過の把握に努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) 定期的なモニタリング、家族様への報告・相談により、現状に即した介護計画の作成に当たっている。	
			(外部評価) 各ユニットの担当者が家族から聴き取った情報を踏まえ、生活の様子や申し送りノートを参考にして計画案を作成し、全職員の意見を聴き取った後、計画を作成している。家族にも説明し同意を得ている。基本的には3か月毎の見直しであるが、必要に応じて柔軟に対応している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の記録を実践や介護計画の見直しに活かすと共に家族様にも見て頂くようにしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組み、対応するようにしている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 地域包括支援センター、防災ネットワークにより、安全な生活の支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 本人、家族様の希望を大切にすると共に、主治医選択 制と導入し、家族様と医療機関の関係強化の支援を 行っている。	
			(外部評価) 主治医は家族と話し合っ決めており、月2回訪問診 療を受けている。歯科医は月1回訪問している。他の 専門医も家族と話し合い、必要に応じて診察を受け ている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 看護職員を配置することで、医療連携体制を整え、利 用者様の状態把握ができ、適切な受診ができるように 支援している。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 利用者様の状態に留意する。入院した際には病院に面 会に行き、医療連携室を通じて経過把握をするなど、 関係作りに努めている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 重度化した場合の指針を作成し説明している。実際に 終末期に入った時点で、再度病院、ご家族様、事業所 で協議し支援に取り組んでいる。	
			(外部評価) 終末期ケアに関しては、入居前に家族と話し合いホー ムとしての指針を伝えている。家族の意思を尊重し、 同意を得て対応している。緊急時に備えて、職員研修 を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 定期的に緊急時の対応について話し合い、勉強を重ねている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 防災訓練を定期的に行っている。 (外部評価) 年に2回(1回は夜間想定で消防署の指導を受け)火災避難訓練を実施している。「自主防災組織(地域防災組織)」の協力を得て、実施することもある。近隣の協力を得て、緊急時に備えてサイレンをホームに設置している。	地震災害に関しても避難訓練を実施しておくことが求められる。調度品の固定、懐中電灯の設置、備蓄品の用意など、具体的な対応策を講じておくことが望まれる。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 声かけや記録の表現についてはいつもプライバシー、個人情報保護に努めている。 (外部評価) 利用者に対しては年長者として尊敬し、優しく支援介助に当たっている。個人情報の取り扱いに関しては全員が学習し、十分理解している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 小さなことでも本人の意思決定できる場面づくりに心掛けている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 人員の配置の中で対応できる限りではあるが本人様の生活のリズム、習慣を大切にした支援に努めている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 出張美容にて定期的に散髪をしており、更衣、整髪等に関しては、困難な入居者様にはできる限りの支援を行っている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 本人の能力や意思を尊重し、無理のないよう参加して頂いている。	
			(外部評価) 食器はそれぞれ好みのもを使用し、利用者の状況に合わせてゆっくりと食事ができている。食事介助の必要な利用者の傍らに座り、優しく声かけを行いながら介助に努めている。水分補給にも配慮している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養摂取、水分補給には日ごろから注意しており、あまり水分を摂られない入居者様には本人様の好きな飲み物を提供している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後の口腔ケアを誘導、介助等一人ひとりの能力に合った支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 本人様の能力に合わせた支援に努めている。	
			(外部評価) 一人ひとりの排泄パターンを把握しており、さりげなく声かけし、機能維持に配慮しながら支援に努めている。尿意を感じない利用者には排泄表を基に支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) できる限り運動や水分摂取から自然な排泄はつながらよう努めている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 本人様の能力や意思決定大切にした入浴の支援を行っている。	
			(外部評価) 基本的には午後、利用者の希望する時間帯に合わせて、週2回以上の入浴支援を行っている。入浴が苦手な利用者については、声かけなどを工夫し気分がほぐれた時点で入浴してもらっている。冬場の室温差には特に注意している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 概ねできている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 定期役の変更、頓服の処方時にはもうい送りノート等に記入し職員全員が確認、共有できるよう努めている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 本人様の生活歴、意志、能力等照らし合わせ尊重しながらできる限り支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 天気のいい日は散歩に出かけたり、ホーム駐車場にてレクを行うなど、人員配置により限りはあるが、できる限り支援できるよう努めている。	
			(外部評価) 天気の良い日には散歩に出かけるよう心がけている。職員とスーパーや薬局に出かけることもある。季節に合わせて花見やいちご狩り、夜市に出かけている。また同法人が行うそうめん流しや夏祭りなどにも積極的に参加している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭管理の面から現状では個人での金銭所持はほとんどないが、希望に応じてお金を使用する場面を作り支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 要望あれば自由に電話を利用して頂いている。手紙のご希望、要望はないがあれば対応する。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 毎日掃除をしており、床と汚れた時には都度掃除ができるよう心掛けている。飾り付けには日々の行事で撮った写真や季節に合わせた物を展示し楽しめる工夫に努めている。	
			(外部評価) 居間、食堂は広くて明るく、室内には桃の花の作品や行事の写真などを飾り、心が和む環境づくりを工夫している。1階のユニットには大きな日めくりを掲げ、時の見当識に役立つよう配慮している。テレビの前にはゆったりと座れるソファを置き、寛げる場所を設けている。	居間に備えた食器棚、家具、テレビ、調度品などは地震対策に備えて、しっかり固定しておくことが求められる。2階にも1階の居間同様、文字の大きい見やすいカレンダーを備えて、月日の移り変わりを意識しながら生活ができるよう支援することが求められる。
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 仲の良い入居者様同士席が近くなるよう配置したり、ソファでTVを観ながらくつろいで頂けるよう工夫に努めている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家族様に近い慣れた物、好みの物等、飾らせていただいたり、行事で撮った写真や使用したもの等飾らせて頂き思い出を大切にしたい工夫に努めている。	
			(外部評価) 1階の居室は花の名前、2階の居室は柑橘類の名前を付けて分かりやすく表示されている。各部屋とも馴染みの調度品などが置かれ、自分の部屋らしく工夫している。	1階の居間同様、時の見当識にも役立つよう、全居室に文字の大きいカレンダーを備えておくことが求められる。各居室も地震対策を講じておくことが望まれる。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 段差のない構造、手すり、トイレ等の呼び出しベル等、設備は整っている。	